

単位数	2	学科（型） 学年	工業科 1年	教科書 副教材等	高等学校科学と人間生活（第一学習社） 新課程版教材「科学と人間生活（第一学習社）」
学習目標		・ 基本的な概念や原理・法則を理解し、自然の事物・事象についての観察・実験を通して、自然に対する関心や探究心を高める。 ・ 現在及び将来における科学の課題と身近な人間生活との関わりについて考察し、環境問題などへの理解を深める。			
学期	学習内容			学習のねらい	
1	科学技術の発展 物質の科学 材料とその利用 衣料と食品			・ 情報伝達技術、エネルギー資源の活用と交通手段、医療技術の発展の歴史を例に、科学技術の発展が今日の人間生活に対してどのように貢献してきたかについて理解する。 ・ 身近な材料であるプラスチックや金属の種類、性質及び用途と資源の再利用について理解する。 ・ 繊維の分類を通して繊維の性質を学び繊維材料の特性をみる。 ・ 食品の栄養素の知識を深め、食育や健康に留意する。	
2	生命の科学 ヒトの生命現象 微生物とその利用 熱や光の科学 光の性質とその利用			・ 遺伝子やDNAのはたらき、免疫機能について理解する。 ・ ヒトの視覚のはたらきと情報伝達のしくみを学ぶ。 ・ 微生物の発見の歴史からウイルスや感染症を理解する。 ・ 身近な発酵食品を考察し、地域の酒造メーカーを調べる。 ・ 光は波の一種であることを理解する。 ・ 電磁波が様々な領域で利用されていることを学び、情報通信や医療の分野での応用事例を理解する。	
3	地球や宇宙の科学 太陽と地球			・ 太陽系の惑星のグループ分けを学び、それぞれの天体の特徴について理解する。 ・ 天球と太陽の日周運動・年周運動から現在の暦の歴史を理解させ、日食や月食の天文現象の考察を行う。	
評価の観点		内 容			
知識・技能		・ 自然と人間生活との関わり及び科学技術と人間生活との関連について基本的な概念や原理法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの能を基本的な技能を身に付けている。			
思考・判断・表現		・ 自然の事物・現象を人間生活と関連付けて、問題を見だし、見通しを持って観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。			
主体的に学習に取り組む態度		・ 自然の事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。			
評価方法	学習の状況は、「知識・技能」、「思考・判断・表現」、「主体的に学習に取り組む態度」の3つの評価の観点で評価します。具体的には、おもに「出席の状況」、「授業中の態度や取り組む姿勢」、「提出物（ノート・ワーク・レポート等）」、「小テスト等」、「定期考査」により評価します。また、学年の成績は、上記の観点から評価した各学期の成績の総合成績とし、A～Cの3段階でも評価します。				
学 習 に 対 す る ア ド バ イ ス と 留 意 事 項					
○ 授業への参加態度は、社会に出て仕事をするときの態度と同じである。授業に集中すること。 ○ 実験や実習の際は、興味を持って積極的に参加すること。危険を伴うことがあるので、指示によく従うこと。 ○ 課題については、提出時期を指示するので、期限内に確実に提出すること。 ○ わからない内容があるときは、そのままにせず、積極的に質問すること。					